

各種窃盗に注意

○ 置き引き

置き引きに狙われる場所は、駅構内、電車等の乗り物内、スーパー等の商業施設内、映画館等の娯楽施設内、自転車のカゴ等、身近な所に数多くあり、被害が後を絶たない状況になっています。

このため改めて注意をお願いします。



被害に遭わないためには、

- ① 手荷物は置いたままにしたり、目を離したりしない。
- ② 手荷物は少しの時間であっても自分の目の届く所に置くか、手に持って移動するようにする。
- ③ 特に貴重品は必ず身体から離さずに持ち歩くことを励行しましょう。

○ 車上狙い

置き引きと同様に車上狙いの被害も継続して発生しています。犯人は通行人のふりをして狙っています。このため、改めて次の点に注意しましょう。

- ① 路上に長時間の放置駐車を行わない。
- ② 車内に貴重品を置いたままにせず持ち歩く。
- ③ 車内にバックや鞆等を置いたままにしない。貴重品が入っていないくても狙われる可能性がある。
- ④ 短時間であっても車から離れる際は、窓を閉め、施錠されていることを必ず確認する。自宅のガレージであっても同様の対応を励行する。

○ 置き配による盗難

日中不在の家庭も多いため、置き配で荷物を受け取るケースが増加していますが、便利な反面、盗難事案も発生しています。

このため、置き配の利用にあたっては次の対策等により盗難リスクの減少を図りましょう。



- ① 屋外に荷物を置く置き配ではなく、宅配ボックスや鍵付き置き配バッグ等の盗難防止グッズを活用する。
- ② 高額な商品は置き配を利用せず、可能な限り直接受け取る。
- ③ 自宅の環境に合った安全で見えにくい所を置き場所とする。
- ④ 万が一の備えとともに盗難の抑止力として、置き配場所を撮影できる防犯カメラを設置する。